

平成 18 年度 宇都宮市教育センター調査研究事業

外国人児童生徒日本語指導に関する調査研究

— 日本語指導の充実を目指した指導計画・資料作成 —

宇都宮市教育委員会

目 次

- はじめに

- I 外国人児童生徒の就学と指導体制づくり

- II 外国人児童生徒の学校生活について

- III 初期日本語指導

- IV 外国人児童生徒の進路

- 参考資料（保護者あて通知文書等）

- 本調査研究関係者一覧

はじめに

1 本市の現状

平成18年5月1日現在での、本市小中学校在籍外国人児童生徒数は230名、日本語指導が必要な外国人児童生徒数は106名であり、近年やや増加している状況である。さらに、居住地域に分散傾向が見られることなどから、外国人児童生徒を受け入れる学校数が増加し、平成18年8月現在では、延べ47校で本市派遣の日本語指導講師による外国人児童生徒への日本語指導が行われている。

また、市内には栃木県教育委員会より、外国人児童生徒教育拠点校として指定された小学校が5校、中学校が2校、計7校ある。これらの学校では日本語教室を設置し、日本語指導担当教員が中心となって、外国人児童生徒への日本語指導や生活適応支援を行い、様々な成果が蓄積されている。

2 本調査研究の活用について

(1) 調査研究の目的

本市の現状から、外国人児童生徒教育拠点校の実践成果をまとめ、周知することによって、各校での外国人児童生徒への日本語指導、特に編入後1ヶ月間程度の初期段階での指導と、生活適応支援の充実を図ることを目的とし、調査研究を行った。

その内容は大きく分けると、外国人児童生徒への指導や保護者との対応等における学校の配慮事項、日本語による初期日本語指導、保護者あて通知文書（ポルトガル語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語・英語による翻訳文）の3つとなっている。

(2) 活用上の留意点

本調査研究は外国人児童生徒の初期指導をまとめたものだが、外国人児童生徒受入れに際しては、他の児童生徒や保護者に不公平感をもたせないよう、外国人児童生徒への特別な支援の必要性を十分理解させるなどの配慮が重要である。

- ① 外国人児童生徒と保護者への配慮については、国籍を問わず一般的な内容を中心として記していることから、一人一人の児童生徒に応じた支援を心がけていただきたい。
- ② 初期日本語指導計画については、編入直後の児童生徒を対象とし、生活指導と関連付けたものになっている。よって、本指導計画での指導後は、日本語教材などを活用した体系的な指導を行うことにより日本語能力がさらに高まり、授業中使用される学習言語の理解にもつながるものとする。
- ③ 保護者あての通知文書については、各校の実態に合わせて記載事項を変更して使用するとともに、平成15年3月に栃木県教育委員会より発行された「外国人児童生徒の保護者向け通知文集—ポルトガル語・スペイン語・中国語・タイ語—」も活用願いたい。

I 外国人児童生徒の就学と受入れ体制づくり

1 外国人児童生徒の就学について

外国人児童生徒については、義務教育への就学義務は課せられていないが、「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」（昭和54年条約第6号）に基づき、入学を希望する者については、公立の義務教育諸学校への受入れを保障している。

宇都宮市では、外国人登録を行った保護者に就学案内を配付し、公立の小中学校に就学の希望をする場合は編入を許可している。また、小学校への就学適齢となった外国人児童には、就学前診断を行った上で小学校入学通知書を送付するとともに、未就学児童生徒への就学案内などを行っている。

[編入の流れ]

- ① 就学案内等の配付
- ② 教育委員会就学窓口での保護者手続
- ③ 教育委員会就学担当者より各校へ連絡
- ④ 校長等による事前面談（編入学年等の決定）
- ⑤ 就学

*入学・転入は日本人児童生徒と同様の手続となることから、事前面談の実施等については各校で判断することになる。

2 外国人児童生徒の受入れ体制について

(1) 管理職の役割 ⇒ 指導体制の確立

《校外》

- ・ 教育委員会への日本語指導講師の派遣申請
- ・ 日本語指導に係る協力者の依頼等（通訳ができる外国人保護者・地域のボランティア、街の先生、県・市国際交流協会のボランティア等）

《校内》

- ・ 全教職員での外国人児童生徒の生育歴、その背景となる文化や宗教などに関する共通理解
- ・ 日本語指導担当（担任・講師含む）を支援する組織的な日本語指導体制づくり

校長，副校長，日本語指導担当，学年主任，学級担任， 児童生徒指導主任主事，養護教諭，事務長，日本語指導講師 等
--

《保護者》

- ・ 家庭での日本語学習・学習内容の補充を依頼
- ・ 母語での読み書き，通信教育等での年齢相当の学習の必要性説明
- ・ 保護者会への参加など，学校との連携依頼

(2) 学級担任の役割 ⇒ 外国人児童生徒の理解と校内への周知等

各校で日本語指導を担当する専任教員配置の有無などの指導体制が異なることから、本項に記す役割については日本語指導担当の役割と重複するものもある。

《日本語指導担当（講師含む）や教職員との連携》

- ・ 教職員全員に外国人児童生徒や保護者の様子についての報告
- ・ 管理職の指示による，他の教職員への空き時間での指導等の協力依頼

《指導等での姿勢》

- ・ 学校生活に対する理解不足から生じる問題行動に対する指導を，児童生徒及び保護者が納得できるよう個別に行うなどの，自尊心等への配慮
*校内での飲食に制限がない，欠席・早退を教職員に伝えなくてよいなど，日本の学校習慣とは異なることが多いことに留意する。
- ・ 教育相談などによる外国人児童生徒の生育歴や母国文化の理解
*服装，持ち物，飲食可能なものなど，日本の生活・文化とは異なることが多い。
- ・ 外国人保護者の不安を取り除くための細やかな連絡

《学級の受容的な雰囲気づくり》

- ・ 学級の一員であるという意識付け
- ・ 母国理解と当該児童生徒自身の理解
- ・ 児童生徒や保護者に不公平感をもたせないよう，日本語講師による取り出し指導や日本語学級設定校での通級指導の必要性の理解

《保護者との連携》

- ・ 学級担任と日本語指導担当の連携
- ・ 学習内容や学校での児童生徒の様子について，定期的な連絡
- ・ 定期的な保護者会，もしくは面談等の実施
- ・ 学校からの連絡文書を母語に翻訳したものの用意・蓄積

別紙資料参照

《指導等での留意点》

- ・ 日本の文化や生活に慣れさせることを急ぐあまりに，各母国の文化を否定することとならないよう十分留意する。
- ・ 当該児童生徒や保護者との会話では，日本語をある程度理解している場合でも誤解を生じることが多いため，簡単な言葉を使い，「ゆっくり，はっきり，大きな声」で実物や絵を見せながら身振りや動作を交えて話す。
- ・ 取り急ぎ必要となるトイレや水飲場等の場所を，絵などで説明する。
- ・ 学級の児童生徒との人間関係づくりの初歩として，学級写真で顔と名前を覚えさせるなどの，視覚的な資料を活用する。
- ・ 日本語の難易度の目安として，指導者の使う日本語が，中学校等で習う英語レベルで訳せるなら「簡単な日本語」であり，訳せなければ難しい日本語と考えてよい。

(3) 日本語指導講師等の役割⇒ 管理職，学級担任等と連携し，日本語指導を行う

《学級担任や日本語指導担当教員との連携》

- ・ 学級担任等と連絡を取り，取り出し指導の日程調整
- ・ 校長や学級担任等との情報交換
- ・ 日本語指導講師が訪問し行う取り出し指導以外で使用する教材等の情報提供や準備(1人でできるプリント等)
- ・ 母語で絵日記や作文を書かせるなどの，外国人児童生徒理解を深める手立ての工夫

《指導形態》

- ・ 取り出し指導

授業中に外国人児童生徒を在籍学級から取り出し，空き教室等で基礎的な日本語を指導する。指導に際しては，正規の授業を受けずに日本語指導を受けることから，前もって保護者の了承を得る必要がある。

- ・ 入り込み指導

授業中に，基礎的な日本語を習得している外国人児童生徒に学習言語を通訳し，在籍学級での教科学習を支援する。この指導形態では，他の児童生徒の理解を得るよう配慮する必要がある。

Ⅱ 外国人児童生徒の学校生活について

1 事前面談について

(1) 出席者

校長，副校長，日本語指導担当，（学年主任，学級担任），児童生徒指導主任主事，養護教諭，事務長

*事前面談によって所属学級などを決定することが多いことから，学年主任と学級担任については，学校生活や学習について説明する者が出席すればよいことから，各学校で判断いただきたい。

(2) 準備書類

- ・家庭調査票 ・保健調査票 ・緊急連絡カード ・アレルギー調査票
- ・学校を説明する資料 ・準備物一覧 ・学区内地図
- ・学校徴収金に関する書類 ・学校スポーツセンターに関する書類
- ・聞き取り調査用紙 など

(3) 編入時の外国人児童生徒と保護者の状態

来日して間もない家族であれば，保護者自身も日本の言葉，習慣，仕事等に慣れておらず，極度の不安をもっている。さらに，外国人児童生徒は，不安であると同時に，親の仕事の都合などで，「日本に連れてこられた」という漠然とした不満ももっている場合がある。

*不安や不満の程度は，各家族又は個人によって異なるため，面談時には，児童生徒と保護者がどのような心理状態か見取することを重視していただきたい。

(4) 事前面談 別紙資料参照

(5) 事前面談での留意事項

① 校長のあいさつ，学校経営方針説明

- ・児童生徒と保護者の緊張や不安を和らげる

明るくゆっくり，自分の名前を言うとともに，児童生徒の名前を呼び，握手などをして緊張をほぐす。また，席の配置は，教職員と児童生徒・保護者が，対面する形は避け，直角か横並びに座るなどすると親近感が増す。

- ・学校生活で特に重要なことを伝える

保護者は，校長からの依頼を特に重視することから，児童生徒が「学校のきまりを守る。」ことや，児童生徒が充実した学校生活のために「保護者の協力が大切である。」ことなどの，特に大切なことについては校長が伝えるようにするとよい。

② 書類の受け取り

- ・入学の場合 「小学校入学通知書」
- ・編入の場合 「学齢児童・生徒異動通知書」
- ・日本の学校からの転入学 前籍校発行「在学証明書」「教科書給与証明書」

③ 聞き取り

それぞれの母国文化や宗教、教育歴などについて、差し障りのない程度に聞き取りを行い、生活指導に役立てる。

・服装について

顔を隠すスカーフや宗教儀式などで渡されるピアスなど

・食事について

飲食を禁止されているものや触れることさえも許されないものなど

④ 学校集金など

金銭に関してはトラブルの原因となることが懸念されることから、学校集金の内訳や集金方法、校外学習経費や臨時教材費など予想される臨時集金について、詳しく説明する。

また、小学生の場合、学校指定の文字・行数のノートを家庭で準備することが困難である場合、学校で注文し、後日で集金することなども考えられる。

2 登校初日の生活指導について

(1) 学級への指導

前日までに、外国人児童生徒編入を学級の児童生徒に知らせ、学級の一員として迎え入れる意識付けを行うとともに、特別な支援の必要性を理解させる。

(2) 当日の留意事項

① 児童生徒を校長室で待機させる。

② 担任が教室へ連れて行く。(児童生徒だけで行かせない)

③ 簡単な自己紹介をさせた後、担任の目の届く席に着かせる。

④ 授業内容の理解が難しい場合は、空き時間の教職員が校舎内の説明などを行う。特に、トイレ、水飲み場、保健室については必ず場所を教える。

⑤ 休み時間は、外国人児童生徒に関心のある児童生徒が一気に質問をすることが予想される。日本語を理解できない外国人児童生徒に恐怖心をもたせないためにも、学級担任が付き添って質問を整理するなどの配慮が必要である。

また、小学生であれば、担任と一緒に遊ぶと安心感をもつ。

⑥ 給食や清掃時は、学級担任、もしくは配慮ができる児童生徒と共に行動させる。

⑦ 下校に際しては帰宅の道順が不案内であることなどから、小学生は下校班、中学生は同方角の生徒を確認し、共に下校させるか、保護者に迎えを依頼する。

3 編入学後早期に行う指導について

(1) 外国人児童生徒の様子

編入後当初は、不安と期待が入り混じった状態である。個人差、発達段階の違いはあるが、外国人児童生徒自身からの発言などの自主的な行動が見られることは少ない。周囲の児童生徒の関心も落ち着き始め、共に行動する児童生徒ができ始める。

(2) 給食指導

魚、豚肉、冷たい牛乳(牛乳は暖かくて甘いものというイメージのある児童生徒)、白いご飯(ご飯には、塩味がついているというイメージの児童生徒)などについて、文化の違いが大きいことから、慣れるまで無理強いをしない。

(3) 清掃指導

清掃は下級階層の者が行う仕事という国もあり、抵抗を示す児童生徒も多い。そういった文化をもっている児童生徒に対して、集団の一員としての責任などの教育的なねらいを理解させる必要がある。また、外国人児童生徒が清掃に取り組まないことによって、他の児童生徒に不満が生じ孤立させないように、前もって文化の違いを知らせておくなどの配慮も必要である。

清掃に取り組むことができる外国人児童生徒に、教師が共に活動することにより、掃除用具の使い方などを覚えさせる。

(4) 日本語指導講師の取り出し指導時間の決定

児童生徒の様子を観察し、取り出し時間を本格的に決める。国語・社会など外国人児童生徒にとって理解が難しい授業のときに取り出し指導を入れるようにし、授業を通して日常的な日本語を覚えていく可能性が高い技能教科等の授業では、他の児童生徒と共に学習させる。

ただし、国によっては音楽や家庭科の授業、水泳の学習等がないことから、教師の指導とともに周囲の児童生徒の支援なども必要になる。

(5) 保護者への配慮

日本語の理解が不十分な保護者にとって、学校からの通知文書が多い場合、不安を感じたり、読もうとしなくなることがある。そのため、重要な内容が伝わらないことがあるため、三者懇談や宿泊学習、健康診断の通知などの重要文書に印をつけて配付する等の配慮が必要である。

4 編入学後1ヶ月程度の指導について

(1) 外国人児童生徒の様子

児童生徒の能力や特徴が、日々の生活の中で現れてくるようになる。

児童生徒によっては、簡単な単語や身振りなどにより意思の疎通ができるようになるため、周囲との人間関係が形成されてくる。

(2) 人間関係への配慮

外国人児童生徒が日本語をある程度理解できるようになるため、「あの子はわかっているのにやらない」などの周囲の不満が生じ、人間関係のトラブルが起こりやすい。

外国人児童生徒に対しては、「わからないことをわからないということの大切さ」を指導するとともに、周囲の児童生徒には、外国人児童生徒が置かれている状況をわからせ、小さなトラブルも解決していく指導ことにより、学級への適応が図られる。

また、学校生活に慣れてくるこの時期に、外国人児童生徒が、母語の分かる日本語指導講師などに学校生活に対する不満等を相談することも増えてくることから、日本語指導講師との情報交換がさらに重要となる。

外国人児童生徒受入れ事前面談マニュアル

☆児童生徒と保護者の緊張と不安を和らげるように
母国の国旗を校内に飾るなどして温かく迎える。

校長・副校長・学級担任・日本語指導担当、児童生徒指導主任主事、養護教諭との分担と連携が重要

1 《事前の準備》

- ① 通訳ができる人の手配をする。
→ 教育委員会学校管理課就学担当者からの連絡時に、保護者の日本語能力や日本語のできる付添い者の有無を確認する。
- ② 管理職，所属予定学年の先生方，日本語指導担当，児童指導主任，養護教諭，事務長，給食主任(栄養職員)との打ち合わせをしておく。
- ③ 聞き取り内容の整理
- ④ 転入学・編入関連文書の準備

・家庭のようす ・保健調査票 ・緊急保健カルテ ・アレルギー調査
 ・学校集金について ・足利銀行口座引き落としの用紙
 ・学校案内等 ・学校，学年便り ・登校初日の準備(連絡帳に貼る文書)
 ・連絡網 ・学用品の一覧

☆所属学年・学級等は，面談により外国人児童生徒の日本語能力や学力などをつかんだ後に決定することも多い。

2 《面談の実際》

- ① 校長が学校経営方針を簡単に説明する。(校長・副校長)
- ② 学級担任や日本語指導担当者が学校，学年，学級の様子や日本の教育制度について簡単に(日本の教育が初めての保護者には特に丁寧に)説明する。
(学級担任や日本語指導担当)
- ③ 児童生徒，保護者からの聞き取りをする。(学級担任や日本語指導担当者)
 - ・ 正式な名前の書き方と読み方を外国人登録証をもとに確認する。
 - ・ 学校での名前の書き方と読み方を確認する。
 - ・ 性別，生年月日，来日年月日，現住所，家族構成，国籍，過去の滞在期間，滞在于定期間，緊急連先，日本語学習歴，出身国での学習歴，持病やアレルギー，出身国での得意な活動や好きな学習，趣味，将来の希望，宗教などをカードと照らし合わせながら言葉で確認する。
※プライベートなことなので相手の様子を伺いながら，差し障り無い程度に聞き取りをする。

※1 日常生活での呼び方について，母語の発音で読んで日本語では変な意味にならないか，姓や名を省略していないか。日本読みを強制していないかなどを考慮する。

※2 宗教の有無は、差し障り無い程度に聞き取りをする。信仰している宗教がある場合は、信仰している宗教によっては禁止されている事項、特に学校行事や習慣、しぐさや行動など配慮を要する事柄が多いため、保護者の要望をしっかりと聞いておく。

④ 学校生活について説明する。(学級担任や日本語指導担当)

- ・ 日本の学校生活に必要な基本的事項について具体的に説明したり、具体物を見せたりしてきちんと伝える。(学年別学用品一覧などの提示)
- ・ 校区の地図に、コンビニ、スーパー、文房具屋、市場、郵便局、ポスト、などをマークしたものを親に渡す。買い物をできるだけ自分でしてもらうようにする。特に学校指定の体育着等の購入先の住所や地図を用意しておく。
- ・ 学年、学級、担任の名前、持ち物、服装、時間割、を確認する。特に時間割では、朝の登校時刻と下校時刻の確認をしっかりと行い、清掃の習慣が無い国から来た保護者と児童生徒には清掃の意味をしっかりと説明する。

※ 掃除は下級階層のものがやる仕事という国もあり、抵抗を示す児童生徒も多い。そういった文化をもっている児童生徒に対して学校はどのような方針で指導していくか、事前に話し合っておく必要がある。

- ・ 小学校では登校班の班長を確認し、面談で顔をあわせ、集合場所の確認をする。特に、面談の次日から登校する場合などは必要となる。
- ・ トイレの場所と使い方、学校の諸施設の案内などを実際に歩いて確認する。
(学校の見取り図を用意しておく)

⑤ 学習について(学級担任や日本語指導担当)

- ・ 来日の理由、経過を聞き取りし指導の方針を決める。一時的滞在か定住かによって、指導内容や到達目標を変える。学年(年齢)によっても、内容を変える。特に中学生の場合、高校入試までの残り時間でできることに絞る。
- ・ 中学校では、高校入試について簡単に触れ、詳細については後日説明を行う。

※ 簡単な学力検査をする。算数・数学は、九九、少数、分数、簡単な図形の作図などで、大体の力や抽象概念の獲得ができているかが分かる。

※ 義務教育を受けさえすれば、高等学校へ進学できるという考えをもった保護者も多いことから、学校生活に慣れた時期に高校入試について詳しく説明する必要がある。

⑥ 児童生徒指導・下校指導・その他の事柄について

- ・ 学校での約束を確認する。(児童指導主任・生徒指導主事)
- ・ 保健室の役割を説明する。(養護教諭)
- ・ 給食指導や食物アレルギーについて説明する。(給食主任・栄養職員 等)

⑦ 事務的な手続き及びその他の説明 (事務長・学級担任・日本語指導担当 等)

- ・ 学校集金についての説明。給食費や教材費などの納入方法、就学援助の情報を確実にする。銀行手続きは、難しいようなら学校側でとる。

3 《参考資料の活用》

児童生徒の情報を聞き取り作成する個人カードや学校集金などについては、参考資料または、県教委作成通知文例集などを参考にする。

Ⅲ 初期 日本語指導計画

1 初期日本語指導について

初期の日本語による日本語指導には、外国人児童生徒が教職員や級友などとのコミュニケーションを図り、日本の学校に慣れるための生活適応指導が多く含まれる。そのため、本指導計画終了後に、市教委貸与教材「ひろさんのにほんご」、「日本語学級」などを活用し、重複内容も含め、体系的に指導する必要がある。

また、日本語指導講師の訪問指導は、外国人児童生徒の母語による指導のため、本指導計画外となる。

2 本指導計画の構成について

本指導計画は、文字指導と会話指導の2部で構成し、1項目が10分から20分で終了するよう作成することにより、1時間の授業の中で会話指導と文字指導を組み合わせを行い、複数の児童生徒の指導にも対応することもできるよう留意した。また、来日直後の児童生徒を指導対象とした初期日本語指導であることから、約35回分の指導内容となっている。

さらに、日本語指導講師の母語による訪問指導日以外に、空き時間などの教職員などが交互に指導することにより、学校生活で最低限必要となる日本語習得の効果が期待できることから、全校的な指導体制づくりが必要である。

なお、本指導計画は、児童生徒の年齢にかかわらず実施できるよう配慮した。

3 会話指導

会話指導では、できるだけ実物を用意したり、動作化したりするなどして、外国人児童生徒が楽しく習得できるようにする。

項目	ねらい	学習内容	主な語彙や文例・指導上の留意点	教材等
1 なまえ	・自分の名前を言ったり書いたりすることができる。	・自分の名前を日本語で言う。 ・自分の名前をひらがなで書く。	・「ぼくは（わたしは）〇〇です。」	
2 がっこう ①	・担任の名前や学級名、教科名が分かる。	・学級担任名、教科名、学級名が分かる。	・担任名、教科名、学級名 〇〇せんせい こくご さんすう せいかつ りか しゃかい おんがく ずこう たいいく かていか がっかつ しょしゃ 1ねん 2ねん 3ねん 4ねん 5ねん 6ねん 1くみ 2くみ 3くみ	

<p>3 がっこう ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の中にある教室等の名前を知ることができる。 ・学校生活のルールを守り、みんなで仲良くすることの大切さが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や施設の名前を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室名：音楽室 図書室 家庭科室 職員室 保健室 ワークスペース 多目的ホールランチルーム 礼法室 パソコン室 図書室 視聴覚室 理科室 トイレ 体育館 放送室 給食室 ・遊具・施設名：ぶらんこ てつぼう ジャングルジム すべりだい シーソー タイヤ うんてい ろくぼく プール 体育小屋 けやき そと *学校めぐりをしながらの指導が、効果的である。 	<p>学校案内 学校案内図 時間割表 日課表 固定施設の 写真</p>
<p>4 がっこう ③</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や施設の使い方を理解する。 ・日課を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日課：A日課 B日課 1じかんめ 2じかんめ 3じかんめ 4じかんめ 5じかんめ やすみじかん *学校めぐりをしながらの指導が、効果的である。 	<p>固定施設の 写真</p>
<p>5 あいさつ ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつの言葉を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活での簡単なあいさつの言葉を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人にあつたとき おはよう おはようございます こんにちは こんばんは ・人との関係の中で ありがとう ありがとうございます ごめんなさい ・食事のとき いただきます ごちそうさま ・家を出るとき 家に帰るとき いってきます いってらっしゃい ただいま おかえりなさい 	
<p>6 あいさつ ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつの言葉を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活での簡単なあいさつの言葉を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自教室以外に入るとき、出るとき しつれいします しつれいしました ・人に頼むとき おねがいします 	

			<p>ありがとうございました</p> <p>・授業の初めと終わり</p> <p>きりつ れい ちやくせき</p> <p>きをつけ やすめ</p>	
7 ものの なまえ①	・身の回りのもの の名前が分かる。	・勉強に使うもの の名前や教室にあるもの の名まえを知り覚える。	<p>・けしごむ ふでばこ えんぴつ</p> <p>えんぴつつけずり こくばん つくえ</p> <p>いす とけい のり はさみ</p> <p>まど どあ ちょーく たな てれび</p>	実物 (学用品, 教室にある もの)
8 ものの なまえ②	・身の回りの物の 名前をたずねたり, 答えたりすることができる。	・指示語(これ, それ, あれ, なに) と組み合わせて身の 回りの物の名前をたず ねたり, 答えたりする。	<p>・「これは〇〇です。」</p> <p>・「これは〇〇ですか。」「はい〇〇です。」</p> <p>「いいえ〇〇ではないです。」</p> <p>・「これはなんですか。」「〇〇です。」</p> <p>*同様に「それ」「あれ」</p> <p>*児童生徒が複数の場合, 会話させることにより, 物の名前を覚えさせる。</p>	絵カード
9 ものの なまえ③	・「～の～」「～の」 の言い方が分かる。	・所属や所有を表す 助詞「の」の言い方 を練習する。	<p>・「これは あなたのえんぴつですか。」</p> <p>「はい, わたしのです。」</p> <p>「いいえ, わたしではありません。」</p> <p>「それは せんせいのです。」</p>	
10 かずと いろ	・1から10までの 数の読み方や色を表す 言葉を覚え, 言うこと ができる。	<p>・1から10までの数字 の読み方を覚える。</p> <p>・物の数を日本語で 言う練習をする。</p> <p>・色を表す言葉を覚 える。</p>	<p>・1, 2, 3・・・</p> <p>・ひとつ, ふたつ, みっつ・・・</p> <p>・あか, あお, きいろ, みどり, ちやいろ, しろ, くろ, むらさき, ももいろ, みずいろ, だいだいいろ</p> <p>*数字の読み方は何通りかあるので, 使い方 に応じて覚えさせる。</p>	おはじき 数字カード 具体物 色鉛筆 ぬり絵シート, 絵カード

1 1 いち・ほう こう	・基本的な位置用語や形容詞を覚え、言うことができる。	・簡単な位置を表す用語を覚え、動作化しながら言う練習をする。	・うえ、した、まえ、うしろ、みぎ、ひだり 等	
1 2 うごき ことば①	・学校で日常使われる動詞で、簡単な指示・依頼の言い方が分かる。	・学校でよく使われる動詞の『て形』を覚える。	・「～してください」 たって、すわって、かいて、よんで、してやって、はなして、きいて、おぼえて、たべて、のんで、あるいて、はしって、とまって	
1 3 うごき ことば②	・動詞とその様子や状況、程度などを組み合わせた言い方が分かる。	・動詞の様子や状況、程度などを表す言葉を覚える。 ・指示・依頼の表現と組み合わせた言い方を練習する。	・はやく、よく、ゆっくり、すこし、たくさん、きれいに、じょうずに、ていねいに、きちんと(ちゃんと) ・「はやく たべて(ください)。」 「ていねいに かいて(ください)。」 *動作化により理解を深めさせる。 *意味上対になるものは、一緒に覚えさせる。	
1 4 うごき ことば③	・許可・禁止の言い方が分かる。	・簡単な指示・依頼・許可・禁止の言い方を話したり聞いたりする。	・「〇〇していい(ですか)。」 「〇〇してはだめ(です)。」 「〇〇して(ください)。」	
1 5 こうつう ルール	・安全な通学ができるようにする。	・交通ルールを知り、交通に関する言葉を覚える。	・しんごう、(ふみきり)、おうだんほどう、ほどうきょう、みぎがわ、ひだりがわあるく、はしる、のる、すすむ、とまる、まがる、とおる、わたる ・「みぎがわをあるく。」「てをあげる。」	場面絵 道路標識

16 てんき	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や季節を表す言葉が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候を表す言葉を覚える。 ・天候を伝える言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はれ, くもり, あめ, ゆき, はる, なつ, あき, ふゆ, あたたかい, あつい, すずしい, さむい, ・「きょうは, ○○です。」 *天気については, 毎時間「今日の天気は何かですか?」という質問をして確認する。 	「日本の四季の写真集」 「子どもの一年」
17 きせつ	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を表す言葉が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や季節に関する簡単な言葉を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい, あつい, すずしい, さむい ・お正月 まめまき ひなまつりにゅうがくしき 子どもの日 つゆなつやすみ たいふう うんどうかい 七五三 クリスマス など 	
18 かぞく①	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の名称を表す言葉が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の名称を覚え, 書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の名称 おとうさん, おかあさん, おじいさん, おばあさん, おにいさん, おねえさん, おとうと, いもうと, いとこ など *長音に気を付けて書かせる。 	
19 かぞく②	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の年と名前を言うことができる。 ・出身国を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の名前を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○のなまえは, ○○○です。」 ・「おとうさんは○○才です。」 	
20 からだ	<ul style="list-style-type: none"> ・体の各部位の名称を覚え, 具合の悪い所を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の各部位の名称を覚え, 言ったり書いたりする。 ・体の具合が悪いときの言い方を覚え, 動作化しながら話した 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の部位の名称 あたま, みみ, め, はな, くち, は, まゆげ, かみのけ, かお, くび, て, ゆび, あし, おなか, ひざ, ひじ, せなか, むね など ・「○○がいたいです。」 「きもちがわるいです。」 「ねつがあります。」 *動作化により理解を深めさせる。 	

		り、答えたりする。		
21 ばしょ① こ・そ・あ・ど	<ul style="list-style-type: none"> ・位置関係を表す言葉を使って、所在を表すことができる。 ・「ここ、そこ、あそこ、どこ」の使い分けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の言い方と、所在をしている物が一致している場合の表現を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ここ、そこ、あそこ、どこ、こちら、そちら、あちら、どちら、こっち、そっち、あっち、どっち など ・「〇〇はどこですか。」「〇〇です。」 * 「こ・そ・あ・ど」の位置的な違いを説明しておくと、「これ・この」の使い分けも分かる。 	教室の中にあるもの 教室から見えるもの
22 ばしょ②	<ul style="list-style-type: none"> ・「あります、います」の使い分けを覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て「どこに(こそあど)、〇〇があります。(います。)」という短文作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ここに えんぴつが あります。」 「そこに、くるまが あります。」 「あそこに 男の人がいます。」 	
23 つき・ひ ・ようび ①	<ul style="list-style-type: none"> ・11 から 100 までの数の読み方が分かる。 ・曜日の言い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11 から 100 までの数の読み方を覚える。 ・曜日の言い方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きょうは、何ようびですか。」 「きょうは、〇ようびです。」 	カレンダー 数字カード 曜日カード
24 つき・ひ ・ようび ②	<ul style="list-style-type: none"> ・～月～日の言い方が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きょう、きのう、あした」の言い方を覚える。 ・1月から12月、1日から31日までの言い方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きのうは ～でした。」 「あしたは ～です。」 「きょうは 〇月〇日〇曜日です。」 ・ついたち ふつか みっか よっか いつか むいか なのか ようか このか とおか じゅうよっか にじゅうよっか 	

<p>25 じこく①</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時刻を言い表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前〇時の読み方を覚える。 〇分、半の読み方を覚える。 「何時ですか？」という質問に答える練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前、午後、1時～12時 1分～60分、半 「何時ですか。」「〇時です。」「〇時半です。」 	<p>時計の模型 時計カード 時間割表</p>
<p>26 じこく②</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時間割の内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の時間割表の見方や読み方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「〇時〇分です。」 教科名 「〇曜日の〇時間目は、〇〇です。」 	
<p>27 ～しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに関する基本的な用語が分かり、勧誘の言い方や答え方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の誘い方や誘われた時の答え方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> すなば、ぶらんこ、すべりだい、一輪車、おにごっこ、かくれんぼ、ドッジボール、サッカー、かけっこ、なわとび など 「〇〇う。」「〇〇しよう。」「〇〇しましょう。」「何して遊ぶ。」「まぜて (仲間に入れて)。」「いいよ。」 など 遊ぶ、帰る、行く、止める、走る、歩く、飲む、する など *場合によっては、実際に遊びを取り入れる。 	<p>絵カード 場面絵 遊具 (実物)</p>
<p>28 そうじ</p>	<ul style="list-style-type: none"> そうじに関する基本的な用語を理解し、掃除の仕方が分かる。 用具の使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に使う道具の名称を覚える。 動作化しながら掃除に関する動き言葉や名詞と組み合わせた言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ほうき、ちりとり、バケツ、ぞうきん、ゴミ箱 など はく、ひろう、すてる、はこぶ、ふく、しぼる など 「ゴミをすてる。」「つくえをはこぶ。」「ほうきではく。」「ぞうきんでふく。」 など 	<p>掃除用具の実物 絵カード</p>

<p>29 きゅうし よく①</p>	<p>・給食に関する 基本的な用語 を理解し、表 現できるよう にする。</p>	<p>・給食で使う道具 の名称を覚え る。 ・食べ物の名前を 覚える。 ・好みや味を表現 する言葉を覚え る。</p>	<p>・白衣, お箸, 皿, お椀, スプーン, フォークおぼん, 給食当番, 配膳台, ストロー, など ・ご飯, パン, おかず, 牛乳 など ・好き, 嫌い, おいしい, まずい, あまい, しょっぱい, からい, すっぱい, あつい, つめたい など *給食の手順について, すでに身に付いてい る場合, 児童生徒の実態に応じて行う。</p>	<p>絵カード 果物 野菜の模型 献立表</p>
<p>30 きゅうし よく②</p>	<p>・給食に関する 基本的な用語 を理解し、表 現できるよう にする。</p>	<p>・給食の手順を動 き言葉と組み合 わせて言う言い 方を練習する。 ・食事のマナーに ついて知る。</p>	<p>・くばる, ふく, たべる, のむ, はこぶ, だす, しまう, かたづける など ・手をあらう, 配膳台をだす, 給食を運ぶ ・「いただきます。」を言ってから食べる。 ・「ごちそうさま。」を言ってから片付ける。</p>	
<p>31 反対のこ とば</p>	<p>・よく使う形容 詞の意味が分 かり, 会話の なかで使うこ とができる。</p>	<p>・よく使われる形 容詞を覚える。 ・身の回りにある 物の様子を尋ね たり, 答えたり して, 形容詞の 肯定や否定の言 い方を練習す る。 ・名詞に続く言い 方を覚える。</p>	<p>・高い, 低い, 大きい, 小さい, 重い, 軽い, 厚い, うすい, 強い, 弱い, 太い, 細い, 明るい, 暗い, 新しい, 古い, 長い, 短い ・「大きいですか。」「はい, 大きいです。」 「いいえ, 大きくないです。」 「大きい犬」「小さい犬」</p>	
<p>32 かいもの ①</p>	<p>・ものの数を表 す言い方を知 り, 表現する ことができる。</p>	<p>・物の数量を表す 言い方を知る。</p>	<p>・〇つ, 〇こ, 〇本, 〇さつ, 〇まい, 〇円, ・「紙を〇〇まいください。」</p>	<p>お金の模型 野菜, 果物 絵カード 食物カード 絵本などの 実物</p>

<p>33 かいもの ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のお金の使い方が分かり、買い物ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこをしながら、買い物の時に使う言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇つ、〇こ、〇本、〇さつ、〇まい、〇円、 「〇〇をください。」「いくらですか。」 「〇〇円です。」「〇〇を〇〇ください。」 	
<p>34 ことばあ つめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ仲間の言葉を集め、一つの言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに習った言葉を仲間に分け、ひとまとめの言葉を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物 いぬ、ねこ、さる、くま ・花 ひまわり、チューリップ、たんぽぽ ・果物 バナナ、りんご、ぶどう、いちご ・乗り物 自転車、自動車、電車 バス など *ひらがな習得状況によって適切なワークシートを使う。 	<p>絵カード</p>
<p>35 でんわ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話の対応の仕方を知り、表現することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話での挨拶の仕方を練習する。 ・欠席の理由や、遅刻、早退の言い方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし〇〇です。」 「〇〇さんいますか。」 ・「はい、そうです。」 「〇年〇組の〇〇です。」 ・「〇〇先生、おねがいします。」 「〇〇で休みます。」 「〇〇ので、おくれます。」 ・かぜ ねつ きもちがわるくて 	<p>電話機</p>

3 文字指導

文字指導の3つの学習内容を、絵カード・ワークシートなどを用意して楽しく学習させます。

- ①正しい発音をする
- ②筆順に注意しながら書くことができる
- ③身近なもののなまえを理解する

項目	ねらい	語彙	備考
1 すうじ 1～5	1から5までの数字が読めたり書けたりできる	1 2 3 4 5	
2 ひらがな①	あ行～か行までが読んだり書いたりできる	あお いえ うし えき おか かき きく くり け こえ	
3 ひらがな②	さ行～た行までが読んだり書いたりできる	さい しか すいか せかい そり たこ ち りとり つき て とり	
4 ひらがな③	な行～は行までが読んだり書いたりできる	なし にじ いぬ ねこ のり はち ひる ふく へそ ほし	
5 ひらがな④	ま行～や行までが読んだり書いたりできる	まめ みみ むし かめ もも やま ゆき よる	
6 ひらがな⑤	ら行～んまでが読んだり書いたりできる	からす りす つる れんこん ろうか わし きりん	
7 ひらがな⑥	が行～ざ行までが読んだり書いたりできる。	あさがお きりぎりす えのぐ ひげ いちご ざりがに くじら すずめ かぜ ぞう	

8 ひらがな⑦	だ行～ば行までが読んだり書いたり できる	だいこん はなぢ みかづき でんわ うどん かぼん びん ぶどう すべりだい ぼうし ばん えんぴつ てんぷら ぺりかん たんぼぼ	
9 ひらがな⑧	促音を含む言葉を読んだり書いたり することができる	きって はっぱ かっぱ かけっこ はらっぱ がっこう せっけん もっきん ねっこ いっぱい けっこん	
10 ひらがな⑨	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる①	きゃべつ きゅうり きょうりゅう しゃしん しゅくだい しょうがっこう	
11 ひらがな⑩	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる②	ちやいろ ちゅうがっこう ちょうちょ にやあにやあ にゅうがくしき によろによろ	
12 ひらがな⑪	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる③	ひやく ひゅうひゅう ひょう みやく みゅ みよ	
13 ひらがな⑫	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる④	りゃ りゅう りょうり ぎゃんぐ ぎゅうにゅう きんぎょ	
14 ひらがな⑬	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる⑤	じゃり じゅく じょうだん ぢゃ ぢゅ ぢょ	
15 ひらがな⑭	拗音を含む言葉を読んだり書いたり することができる⑥	さんびやくえん びゅ びょういん ぴゃ ぴゅ ぴょ	

16 ひらがな⑮	ものの名前を聞いて、書くことができる	ひらがなの文字の復習をする	
17 カタカナ①	ア行～カ行を読んだり書いたりすることができる	アイス インコ ウクレレ エアコン オレンジ サラダ シャツ スキー セロテープ ソーセージ	
18 カタカナ②	サ行～タ行を読んだり書いたりすることができる	カメラ ペンキ クレヨン ケーキ コップ タンバリン チーズ バケツ テニス トマト	
19 カタカナ③	ナ行～ハ行を読んだり書いたりすることができる	ナイフ ハーモニカ カヌー ネクタイ ノート ハム コーヒー フライパン ヘリコプター ホテル	
20 カタカナ④	マ行～ンを読んだり書いたりすることができる	マフラー ミルク ガム メロン モップ タイヤ ユーホー ヨット ラケット リボン ボール レモン ロボット ワイシャツ ペン	
21 カタカナ⑤	ガ行～ザ行を読んだり書いたりすることができる	ガラス キリギリス グラタン ゲレンデ ゴリラ サザエ ジャム ズボン ゼッケン ゾウ	
22 カタカナ⑥	ダ行～パ行を読んだり書いたりすることができる	ダイビング モデル ドレス バナナ ビスケット ブラウス ベンチ ボタン パイロット ピアノ プリン ペリカン ポケット	
23 カタカナ⑦	ものの名前を聞いて、書くことができる	カタカナの文字の復習をする	

IV 外国人児童生徒の進路

1 進路選択での課題

複数の国を行き来し、複数の文化をもつ外国人児童生徒の将来には、多様な可能性とともに、いくつかの課題もある。

外国人児童生徒への進路指導において、「児童生徒と保護者」の間での価値観の違い、「保護者と教職員」の間での進路に対する認識の違いなどが問題となることもある。さらに、保護者の事情により、日本での滞在が不安定で、将来への見通しが見えにくい場合も多く、外国人児童生徒の進路選択を困難にしている。

これらのことから、外国人児童生徒の発達段階に合わせて、児童生徒・保護者・教職員の三者がよく話し合い、互いの文化的背景の違いを理解し、幅広い進路の可能性を模索する努力が必要である。

2 進路指導時の教職員の配慮

(1) 児童生徒の状況

- ・ 児童生徒によっては母語も日本語も堪能でない場合があることなどから、自分がどこの国で生きていけばいいか、外国人児童生徒の心は絶えず揺れている。
- ・ 日本語による日常会話が行えるようになっても、授業中に使用される学習言語が理解できないために学力が向上せず、自分は勉強ができないという劣等感をもつことが多い。

(2) 児童生徒への指導と保護者への対応

[児童生徒]

- ・ 高校入試に関わる情報を、外国人児童生徒が保護者とともに自力で収集することは極めて難しいことから、学校からの情報提供が重要となる。就職しながら学ぶことができる定時制高校や職業訓練校、奨学金制度などについても必ず説明し、学ぶ機会の多様性を理解させ、将来への期待を失わせないよう支援する。

また、一般的な情報とともに、卒業生や外国人保護者などからの情報なども活用するとよい。

[保護者]

- ・ 児童生徒と保護者の母国文化、教育制度について理解した上で、保護者に日本の学校制度や進路について十分説明する機会をもつことが必要である。ただし、保護者によっては、高校進学や就職について全て学校に任せればよいと考えることから、保護者に依頼すべきことは確実に伝える。

* 保護者が日本語での理解が十分でない場合は、参考資料「高等学校入試に関わる用語の説明について」を活用願いたい。